

シネマズライフ

たかぎ りおん
貴樹 諒音

2016年11月5日発行 第113号 <http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

【最近のこれはお見事！】

『疾風ロンド』

阿部寛がスキー場を疾風したいのですがそれができない話なようです。しっあう……!

【最近のこれはまずいぞ！】

『エヴェレスト 神々の山嶺』 奇天烈だからいいと思 うなんて政治の世界では止めてくれと思う件

映画の風景 日本の風景

※ 富士山 ※



雲海に浮かぶ富士 →

今、エヴェレストでは登山者が殺到しているそうだが、富士山も同じ状態だ。近年、登山技術・道具が開発され、技術が未熟でも多くの人が高みへと登る事ができるようになった。多くの人が何故登山困難な山に登るのか? 答えはやはり自分が高みに登ってみたいとわからないのだと思う。

『エヴェレスト 神々の山嶺』という映画があった。こんな映画だ。深可威は、カメラマンとして同行したエベレスト登山隊で犠牲者が出たエベレスト登山隊を撮る。その上、予定していた写真集出版も中止になり、カトマンズを離れられずにいる。そんな時、ある古道具屋で一つの古いカメラを目にする。「エヴェレスト・ポケッタブル・カメラ」。

「意図的な結末！」と宣伝している映画は多いが、この『ラプ&ピース』は本当に意外なものでここでは書かない。人によって『奇天烈』もいるだろう。『奇天烈』は、私はこの主人公が奇妙だと思わなかった。それもある。『奇天烈』は、私はこの主人公が奇妙だと思わなかった。それもある。『奇天烈』は、私はこの主人公が奇妙だと思わなかった。それもある。

『エヴェレスト 神々の山嶺』2016年 日本 監督：平山秀幸 原作：夢枕獏
出演：稲田浩一 阿部寛 尾野真千子 ビール准 甲本雅裕 風間俊介 山中崇 佐々木健之介

主人公・羽生のモデルは実在する登山家・森田勝、エヴェレストへの執念は凄まじく、亡くなる2年前の登山時のエピソードは鬼気迫る。

「意外な結末！」と宣伝している映画は多いが、この『ラプ&ピース』は本当に意外なものでここでは書かない。人によって『奇天烈』もいるだろう。『奇天烈』は、私はこの主人公が奇妙だと思わなかった。それもある。『奇天烈』は、私はこの主人公が奇妙だと思わなかった。それもある。『奇天烈』は、私はこの主人公が奇妙だと思わなかった。それもある。



一方、『王妃の館』。主演は水谷豊で原作は浅田次郎。他出演者も田中麗奈・吹石一恵・石丸幹二でパリでの撮影と超豪華な作品になっている。お話は潰れかけた旅行社を

だろわか? という事で、お話だけだと、二つのツアーが重なったとして、ドタバタぶりが楽しみな映画を想像して面白そうなのだが、ところが面白いなかった。

京(水谷豊)達など、この昼夜交客は有名作家・北白川右内。内を朝霞が案内し格安客を部下の戸川が案内する。客は有名作家・北白川右内。内を朝霞が案内し格安客を部下の戸川が案内する。客は有名作家・北白川右内。内を朝霞が案内し格安客を部下の戸川が案内する。

以下次号。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もみます。m(_ _)m

『アメリ』

スターチャンネル

2001年 フランス

監督 脚本:ジャン・ピエール・ジュネ

脚本:ギヨーム・ローラン

出演:オドレイ・トトゥ マチュール・カソヴィッツ リュフェス
クレール・モーリエ セルジュ・メルラン

11月7日(月) 16:30
11月10日(木) 17:00(吹)
11月12日(土) 26:20 ⇒ 11月13日(日) 2:20
11月20日(日) 11:15(吹)
11月23日(水) 23:00
11月27日(日) 8:40

【チャンネル2】
【チャンネル3】
【チャンネル2】
【チャンネル3】
【チャンネル2】
【チャンネル2】

父親の勘違いの為、少女時代を学校に通わず空想好きの内気な少女として育ったアメリ。大人になって一人暮らしをし、モンマルトルのカフェで働くようになって、それは変わらずにいた。

ある日ふとした事から「小さいはずら」をきっかけに人々に幸せを与えて充実感を覚えるようになり、アメリは密かな楽しみになった。

ある日、スピード写真のボックス周辺に捨てられた写真を集める事を趣味にしているニノと出会い彼に興味を持つようになる…。

『アメリ』の世界的ヒットで、演じるオドレイ・トトゥはトップ女優に。このかわらしさを出せる女優はなかなかいないだろう。

『福福荘の福ちゃん』

チャンネルNECO

2014年 アメリカ

監督 脚本:藤田容介

出演:大島美幸 水川あさみ 荒川良々

11月7日(日) 18:50

11月25日(日) 16:40

塗装職人の福田辰男は32歳。住んでいる【福福荘】でも職場でも、明るい福ちゃんは人気者だ。ただ一つ女性にはコンプレックスを持っていて、いまだに恋人もおらず、親友の島木ことシマツチに女の子を紹介してもらってもうまくいかない。

ある日、彼の元に中学校の同級生・杉浦千穂が訪ねてくる。実はコンプレックスの原因は初恋の人・千穂が原因なのだが、千穂は最近不運が続いており、靈感の強い喫茶店のママに「過去を清算しろ」とアドバイスを受け、福ちゃんを訪ねてきたのだ。

訪ねるうちに写真家志望の千穂は《福ちゃん》に興味を持ち、被写体となってほしいと頼み込む…。

お笑いトリオ【森三中】の大島美幸が女性にも関わらず男性の《福ちゃん》を演じ、『第18回ファンタジア国際映画祭』で、最優秀主演女優賞を受賞したが、いかにも「福福しい」福ちゃんには当然だと思う。最初は幸薄そうな題名だと思ったが題名通りの映画です。

☆読んで頂いてありがとうございます。よろしくお聞きください。

☆次回発行は11月18日。発行予定は第一・三金曜日です。

『クライマーズ・ハイ』

2008年 日本
監督 脚本:原田眞人 原作:横山秀夫
脚本:加藤正人 監製出

出演:堤真一 瑛人 野野真千子 高橋政宏
山崎賢人 遠藤憲一 田中トモロヲ 滝藤賢一

85年8月。群馬県の地方紙「北関東新聞」の記者・悠木は、社内の登山仲間の販売部の安西と登山の準備をしていて、

ところが、群馬県の山に航空機が墜落したという一報が入り、登山を中止。悠木は社長の白河から事故の全権デスクの指名を受け、



【日本航空123便墜落事故】をきっかけに噴き出す自らの苦悩を再認識し、再生しようとする男の物語。

悠木に堤真一、記者に瑛人・滝藤賢一、女性記者・玉置に尾野真千子、社会部長に遠藤憲一と現在活躍する錚々(そうそう)たるメンバーが揃う。

性記者・玉置は地道な取材の中、事故の原因を知り記事にしようとするが、悠木は喧嘩する社内の中で『クライマーズ・ハイ』登山者が恐怖を通り越して極限に達し、麻痺してしまう事になり誤報を流すかもしれないと警戒。慎重に扱うように玉置に指示するが…。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ113号

発行人:貴樹諒音

発行日:2016年11月5日

cinemaz-life@movie.nifty.jp

告知ブログ

http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

↓エグレストをベースキャンプからの眺める風景



Wikipediaから使用させていただきました。m(_ _)m

【編集後記】
☆今年も、もう後一カ月ちよつと、毎書い今年はうだ、年すん事が多かつた。かする事が年も長く着かないう日々が続くが、皆さまお体大切に！

☆読んで頂いてありがとうございます。よろしくお聞きください。

シネマズライフ—cinemaz-life— 1 1 3号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

《スターチャンネル》

『アメリ』

《チャンネルNECO》

『福福荘の福ちゃん』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介しています。

§§§

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§§§

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.